

第420回:2. 5%のビール

「^{にが}苦っ！」先週末の夜、武漢から長駆福岡空港に降り立ち、博多の居酒屋で生ビールを一気に流し込んだときの第一声だ。横に英語の分かる黒人がいたら、殴られるところだった、危ない、危ない！

訳あって、「九州経済業界訪中団」の一員として先月末から今月初にかけ、中国遼寧省(瀋陽市、大連市)と、湖北省(武漢市)を廻ってきた。訪中目的は設立間もない「自由貿易試験区(以下自貿区)」の視察。ボクは藝州廣島の出だが、家人が福岡市姪浜出身だから、九州に多少縁がなくはない。

自貿区とは経済特区や経済開発区と似たような発想で、地元政府の自由裁量で一定の域内に外資導入の実験場をつくり、その成功体験を「一点突破・全面展開」で全国に展開しようとする新たな試み。

これまで2013年に上海で初の自貿区が設立され、15年には天津市、広東省、福建省への拡大が進み、そして本年3月、中国政府は遼寧省、浙江省、河南省、湖北省、重慶市、四川省、陝西省の7地域を新たな自貿区に指定した。これで全国の実験場は31省市自治区(除く台湾・香港・マカオ)の内の11か所となり、就中いま注目されているのが今回訪問した遼寧省、湖北省等の内陸部である。

瀋陽市、武漢市は中国を代表する内陸の大工業都市であり、かつ中国の最優先政策である「一帯一路」の起点となる要所でもある。特に瀋陽が属する遼寧省は東に朝鮮半島と接し、日本との距離も近い。西は内蒙古を通じ中央アジアにつながり、南は大連港から海上シルクロードに伸び、北は黒龍江省を通じロシアに面し、中国のなかで、最も「一帯一路政策」とリンクしている地域。この優位性を生かすのが遼寧省の使命である。自貿区と一帯一路との合作が軌道に乗れば、中国中鉄や中国鉄建といった大手ゼネコンが周辺国でインフラ工事を請け負い、完成した工業団地や商業施設に対し、中国企業が投資するようになるだろう。そうなれば、中国が抱える過剰生産設備や高騰する人件費等の解消にもつながり、一路一帯のルート上に拡大再生産メカニズムが働き、中国経済に好循環をもたらすと期待される。

まあそんな能書きを団員の前では垂れながら、心中密かに「臭豆腐が食いたい、マオタイ酒が飲みたい」など考えていたのだが、出張は難行苦行の連続だった。しかし冷静に考えてみればこれ想定内の範囲内だ。自貿区とは運送基地、保税區、工業団地等を合体させた開発区であり、都会の繁華街にあるはずがない。

譬えて云えば、東京都内のホテルに宿泊し、連日成田、横浜、甲府等をバスでグルグル回るような日程だった。おまけに瀋陽や武漢は大都市ゆえに近年交通渋滞が甚だしい。尻と腰の痛みはまだ続いている。

唯一の楽しみは中華料理。初日の夜は「国府肥牛」という瀋陽市は奉天街の火鍋屋に案内された。要はシャブシャブだが、ここは通常の火鍋のような大鍋を使わず、各人の前に白濁したツユを張った小鍋が用意されており、具材は自分が選んだ牛肉、羊肉、野菜等を入れて食う。タレも自己責任でウガラシ、ニンニク、XO 醬、ゴマ味噌、醤油等を自分でテキトーに選び、ぶち込む方式。

肉は臭みがなく甚だ美味芳醇、野菜、魚介類も種類が豊富で大満足・画竜点睛を欠いたのが酒だった。12名の団員の大半が福岡空港で名刺を交換していたように、ほぼ初対面。中国人の幹事も多少緊張していたようでビールしか出してくれなかった。銘柄は中国の東北三省を代表する「雪花啤酒」。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

この雪花ビール、いまは本社を北京に移し、香港を代表する本土系コングロマリットの「華潤創業」と SAB ミラーとの合併経営となっているが、戦前は日本が出資する満州麦酒であった。解放後は雪花啤酒と名を変え、ボクが上海に留学した 35 年くらい前は、青島ビールと並び、数少ない「何とか飲めるビール」だった。因みに、それ以外のビールは馬のシオンベンと似たり寄ったり、とても飲めたものではなかった。

雪花ビールは、いま中国最大のビールメーカーではないだろうか。アメリカ系だけあって、さっぱりとした味わいは結構だが、苦みが皆無で、アルコール度数が 2.5%しかない。瀋陽の晩秋は空気がカラカラに乾いており、ビールは美味いが 2.5%では酔うに酔えないし、だんだん腹ふくる状態になってくる。酒好きの団員は寂しそうな風情で、ちらちらと幹事さんの方に眼を遣るのだが効果はなかった。中国のビールは日本と違って地域性が強く、行く先々で地元のビールが出てくるのが一般的だが、この雪花ビール、全国銘柄になりつつあるようで、大連でも武漢でも出され、今回他のビールを飲む機会は遂になかった。

翌日の昼食は自貿区迎賓館で瀋陽の副市長に御馳走になった。メニューは、オードブル、パイ皮生地ですべてを覆ったスープ、エビフライ、牛ステーキ、デザート。洋食の配列で内容は中華というヌーベル・シノワ風。赤ワインが供されたが近頃中国では公務員の昼間からの飲酒が厳しく制限されており、その所為か大きなワイングラスの底に赤ワインが僅か 2-3 ミリ張り付いているだけ。乾杯をする都度、悲しい思いをした。

その晩は自貿区幹部の招きで、瀋陽名物「老辺餃子館」の各種餃子を堪能した。嬉しいことに雪花ビールに加え、やっと 53%の茅台酒が登場し、このときばかりは心ゆくまで乾杯を繰り返した。

しかし、それにしても初日がシャブシャブ、二日目も餃子とは。瀋陽の古称は奉天、更に大昔はムクデン (Mukden) と呼ばれ、鮮卑やソグド系遊牧民の縄張りであった。中原の漢民族から見れば北狄、西戎が跋扈する化外の地であり、シャブシャブも餃子も、そんな歴史のなかで生まれた少数民族料理に違いない。

そんな関係で、三日目に大連の「天天漁港」で海鮮中華料理が出てきたとき、これでやっと漢民族の料理に会えたと感激した、出てきたビールは雪花ビールだったけど。

そんな 5 泊 6 日の長旅を終え、最終日に武漢から福岡空港に到着したとき、出迎えてくれた弊社支店長と団員仲間の 3 人で博多の「よかたい 総本店」に飛び込み、タレとたっぷりのゴマであえた刺身を食いながら、とっとも苦くて濃いサッポロ生ビールを立て続けに 3 杯ほど喉に流し込み内陸の旅を終えた。(了)

文中の見解は全て筆者の個人的意見である。

平成29年11月8日

筆者プロフィール

杉野光男

東洋証券株式会社 主席エコノミスト

一橋大学商学部卒、三菱信託銀行(現三菱 UFJ 信託銀行)入社、上海華東師範大学へ留学

同行北京駐在員、上海駐在員事務所長、理事中国担当部長を経て、2007年より現職

著書 日本の常識は中国の非常識(時事通信社)、中国ビジネス笑劇場(光文社)等

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

2/3



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 121 号

日本証券業協会 加入

本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 TEL03-5117-1040

ご投資にあたっての注意事項

手数料等およびリスクについて

① 株式の手数料等およびリスクについて

- ・ 国内株式の売買取引には、約定代金に対して最大 1.2420% (税込み)、最低 3,240 円 (税込み) (売却約定代金が 3,240 円未満の場合、約定代金相当額) の手数料をいただきます。国内株式を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。国内株式は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。
- ・ 外国株式等の売買取引には、売買金額 (現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買いの場合には加え、売りの場合には差し引いた額) に対して最大 0.8640% (税込み) の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。外国株式は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

② 債券の手数料等およびリスクについて

- ・ 非上場債券を募集・売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスク及び為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

③ 投資信託の手数料等およびリスクについて

- ・ 投資信託のお取引にあたっては、申込 (一部の投資信託は換金) 手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価格が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

④ 株価指数先物・株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

- ・ 株価指数先物取引には、約定代金に対し最大 0.0864% (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。
- ・ 株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大 4.320% (税込み)、最低 2,700 円 (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。株価指数先物・株価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をよくお読みください。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

3/3

